




19 字建第 45 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 殿

宇美町長 安川 博


中期的な計画の作成に係る意見について

宇美町行政の推進につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記の中期的な計画について、本町の現状を踏まえ以下のとおり提言申し上げます。

本町は政令指定都市である福岡市に近接しており、町内の主要幹線道路であります県道 3 路線の交通量は年々増加しているものの、いまだに一部幅員狭小区間あるいは歩道未整備区間が残っているため、慢性的な交通混雑が続いています。

このため、現在福岡県事業として着手されております都市計画道路志免宇美線および粕屋宇美線、あるいは町事業であります土井宇美線の早期完成が望まれるところでありますが、町財政は厳しい状況にあり、用地買収の難航等とも相まって整備事業は遅々として進んでいないのが現状であります。

また、町内の生活道路も幅員が狭く歩道未整備区間が大半であるため、幹線道路から渋滞をさけて流入する交通車両も生活環境悪化の一因となっており、加えて今後、少子高齢化を迎える時代背景の中で、歩行者の安全な通行確保に向けた歩道などのバリアフリー化推進も急務であります。

さらに、本町は、古い歴史を持つ宇美八幡宮や四王寺県民の森（大野城跡）、昭和の森といった独自の観光資源を数多く有しており、また、近年開館された九州博物館も隣接する太宰府市にあります。広域的な観光の振興も道路網の整備が追いついていないために、これらの観光資源を有効に活用できていない状況であります。早期完成が待たれる前述の都市計画道路粕屋宇美線は、九州博物館にも直接アクセスできる道路でもあり、国内有数の史跡観光地である太宰府地域との広域交流も期待されるところであります。

このように、本町におきましても主要幹線道路や生活道路の整備は住民の生活環境にも密接に影響しており、地域全体の活性化はもとより、救急医療体制確立のためのアクセス道路の確保、渋滞緩和のため福岡都市圏全体を見据えた環状道路や主要幹線道路の整備の推進とともに、生活道路整備のための財源確保が重要課題と思慮致すところであります。

貴職におかれましては地方行政の実情をお酌み取りいただき、住民の生活基盤である道路整備をより推進していただきますようよろしくお願い申し上げます。